FD
642

軍事極秘

自昭和十九年八月一日
至昭和十九年八月三十一日

陣中日誌

獨立混成第十五聯隊本部

21424

昭和33年4月米政府返還旧日本軍記録文書等史料経緯票
防衛庁防衛研修所戦史室

表題	
整理番号	
作成の部隊庁・個人名等	
作成年月日	明治 大正 昭和 年 月 日作成　当 年 月 日 年 月 日 の間に作成
史料の主内容	
備考（本史料に関する参考事項を記す）	
史料の入手経路	本史料は大東亜戦争中米軍が日本戦時で鹵獲し、その内地進駐後、陸海軍諸機関から押収した記録文書のうちから、長くアメリカ合衆国外ワシントンの記録保管所に保管されていた。米国務省に対する日本政府の返還要求に応じ、昭和33年3月日本側に引渡され、同年4月横浜着、同月10日指定保管責任者たる防衛研修所戦史室の手に帰したものである。
責任者職・氏名	防衛庁防衛研修所戦史室長 防衛事務官 西浦 進

昭和33年5月調製

昭和九年八月一日

一、役務要員及資材嘉手納、古堅ニ集積

暴云	同	同	同
沖縄縣中頭郡北谷村	同	同	同
古堅	下中隊	下中隊	下中隊
下達命令	獨立混成第一五聯隊日日命令	入浴部隊	玉城孟之
獨立第二百命第三二號	兵進級ニ関スル命令	同	同
	聯隊本部	陸軍上等兵	吉岡辰雄
	同	同	飯尾徳太郎
	同	同	加藤俊雄
	第一天隊本部	同	鈴森實
	同	同	吉屋成久
	第二天隊	同	入田義雄
	同	同	関西五郎
	第二中隊	同第二等兵	並木克己

第一機関銃中隊	陸軍上等兵	三森匡
同	同	杉崎正保
第二大隊本部	同	荻岡剛三
第四中隊	同	市田利一
同	同	根橋亘
第五中隊	同	市村新三
同	同	林榮一
第六中隊	同	小林義男
同	同	大懸源作
第二機関銃中隊	同	高橋久
第七中隊	同	佐藤政之
同	同	小平義男
同	同	菊地多利藏
第三機関銃中隊	同	安住長太郎

第三機関銃中隊	陸軍上等兵	西川梅治郎
聯隊砲中隊	同	蔭山卓夏
同	同	小保内專親
工兵中隊	同	清水能夏郎
同	同	西部義藏
同第二中隊	同	五味徳次
命令 陸軍兵長	[illegible]	[illegible]
第六中隊	陸軍衛生上等兵	有賀森雄
第七中隊	同	後藤秀助
第三機関銃中隊	同	立司[illegible]郎
命陸軍衛生兵長	[illegible]	[illegible]
聯隊本部	陸軍一等兵	宮崎壽太郎
同	同	松山拙郎
同	同	菅沼晴六

聯隊本部	同	陸軍一等兵
同	同	早坂・冴治
第大隊本部	同	成田長次郎
同	同	田中豊隆
同	同	宮崎貫治
第一中隊	同	黒田喜久志
同	同	砂川清
同	同	安斉勝義
同	同	日原貞章
第二中隊	同	上野十兵衛
同	同	帝川清
同	同	板橋慶平
同	同	柏澤喜郎
第三中隊	同	佐藤幸臣
第機関銃中隊	同軍二等兵	外川計保

第機関銃中隊	陸軍一等兵	島本旺成
同	同	小山林次郎
第大隊本部	同	徳矢合義郎
第聯隊本部	同	澤文一
同	同	恒川藤治
同	同	高林清藤
同第三聯隊砲中隊	同	宍戸清吉
第五中隊	同	桑保喜次郎
同	同	北山榮次郎
同	同	松井吉三
同	同	中里浦夫郎
第六中隊	同	秋野与吉
同	同	小長谷竜次
同	同軍二等兵	吉田清銀

第六中隊　陸軍一等兵　宮澤清賢
第三機関銃中隊　同　井田金治
同　同　前澤良三
第七中隊　同　小室吉見
同　同　中井堅
同　同　佐藤勝太郎
第三機関銃中隊　同　渡部惣藏
同　同　伊藤廣吉
同　同　高橋由藏
同　同　堀口藤助
野戦砲中隊　同　彩雲文夫
同　同　粕谷孝治
同　同　中村辰郎
速射砲中隊　野戦一等兵　清野和夫

東京小林納

工兵中隊　陸軍一等兵　馬奈木三郎
同　同　大和林藏

命陸軍上等兵　速射砲中隊　陸軍衛生一等兵　橋本市治

命陸軍衛生上等兵

二、兵轉屬ニ関スル命令

一九、七、三　第一中隊　陸軍上等兵　加藤信次
一九、七、四　第二中隊　同　木村次郎
一九、七、一六　第六中隊　陸軍兵長　田中仙三

右陸普第一〇〇號ニ依リ頭書ノ年月日ヲ以テ近衛歩兵第一聯隊ニ轉屬ス

三、衛兵ヲ當分軍間左雪西女領ヨリ増留服務ス

四、人員五哨　衛軍　工兵運動場東北入口ト[illegible]ヨリ起原

高陳[illegible]八荷物驛積ヲ厳重ヲ動哨スルモノトス

美田[illegible]

陸軍

之ニ暴晴ニシテ三線交代ス

四、免ス 陸軍伍長 高橋金之助 事務

命 陸軍々曹 太田敏三郎

頭書通牒炊事掛下士官ヲ免命ス

[illegible]

[illegible] 陸軍兵長 田中[illegible]三

同 木林[illegible]

陸軍一等兵 [illegible]蘭[illegible]

命 陸軍[illegible]

[illegible]

命 陸軍[illegible]

[illegible]

陸軍[illegible]一等兵 [illegible]本[illegible]

同 大林[illegible]

陸軍一等兵 [illegible]木三[illegible]

工兵中尉

美田

昭和九年八月二日 晴

一、陣地構築爆破作業ノ為爆薬ヲ受領

古堅 受領

獨混四旅作命第七號

一、旅團八別紙計畫ニ依リ守備地區ノ現地戰術ヲ實施ス

二、各隊八別紙計畫ニ基キ演習員ヲ參加セシムベシ

旅團長 鈴木少將

下達法 印刷交付

配布先 中頭國頭伊江島地區隊 7TAS 15SAS

報告先 22A

獨立混成第四四旅團命令 八、二、一二、〇 嘉手納

獨立混成第一五聯隊日日命令 一八 古堅二

獨混音命第三號

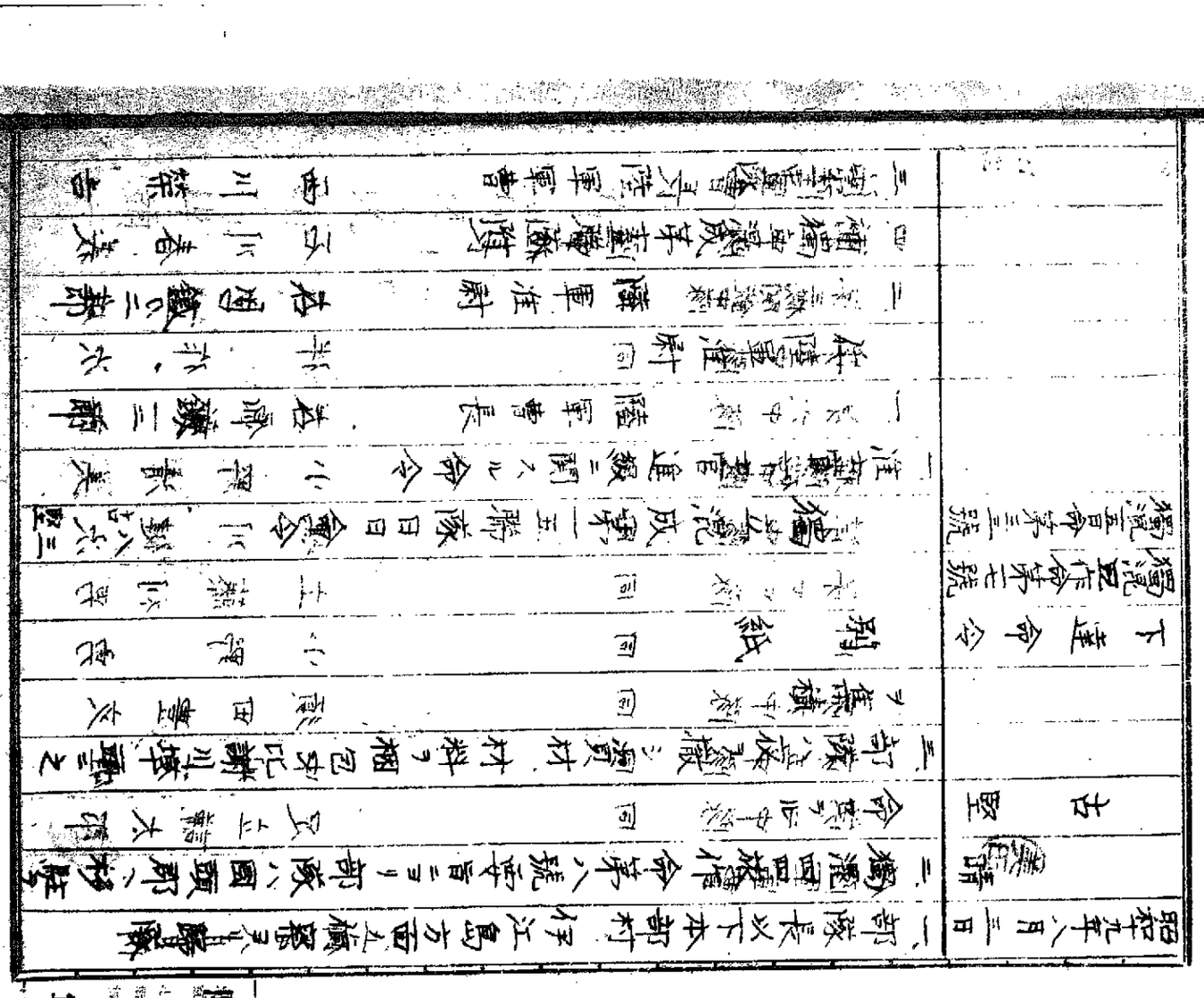
下達 命令

一、獨混一五日命第三號別紙一ノ「第一中隊 陸軍上等兵 本田金造」ヲ削除ス

以下略

美田

陸軍



江陸軍書長

四 第三中隊　陸軍伍長　石川春義

第三旅團鎮中隊　同　太宮[illegible]

第五中隊　同　伴作次

第六中隊　同　大原新一郎

聯隊砲中隊　同　小野清美

第四中隊　同　立川健次

第七中隊　同　立藤利男

同　同　小野勇

第九中隊　同　須田豊文

第五中隊　同　[illegible]

命第[illegible]中隊　同　足立謙太郎

[illegible]陸軍[illegible]曹　命第八[illegible]

一 [illegible]

昭和[illegible]年八月二日

美田

[illegible]

獨立混成第十五聯隊命令

第[illegible]

一、軍ハ右續師團ノ來着ニ伴ヒ警備地區ヲ變更シ旅團ハ國頭地区ノ警備ニ任ズ

二、聯隊ハ伊江島警備隊ヲ併セ指揮シ本部地区隊トナリ屋我地島、港東方約一粁ノ無名島、安和東端ヲ連ネル線以北ノ地区ヲ警備セントス

假編獨立砲兵第百大隊ノ一小隊ヲ配屬セラル

三、各隊ハ本三日夜ヲ徹シ材料、資材ヲ比謝川埠頭ニ

獨混五作命第十七號

古、三、二〇

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

集積シ明四日材料塔載掛ノ指示ニ依リ塔載ス
ベシ

四 塔載掛トシテ各本部ヨリ將校一、各中隊ヨリ下士官
以下十五名ヲ明四日〇八、〇〇マデニ埠頭ニ差出シ
塔載掛ノ指揮ヲ受ケシムベシ

五 聯隊本部、第一大隊、獨立中隊ノ移駐地ハ渡久地
トシ第二大隊ハ今帰仁ニ移駐スベシ

設營ノ爲、第二大隊ヨリ將校一、各隊ヨリ下士官一、
兵二ヲ明四日一二、〇〇本部ニ、第一及第二大隊ハ讀谷
山國民學校前ニ差出シ聯隊副官ノ指示ヲ受
ケシムベシ

設營者ノ爲自動車一ヲ配屬ス

六 各隊ハ明后五日一八、〇〇マデニ出發ノ諸準備ヲ完
了スベシ

七 予ハ古堅國民學校ニ在リ

獨立混成第十五聯隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ電話ヲ通知後印刷交付

報告通報先 第二歩兵隊、山砲隊、聯隊砲中隊

昭和九年八月四日

達	一、部隊長、各大隊長、聯隊砲、工兵各中隊長、旅團ニ於テ實施セラレル現地戰術ニ出席ノタメ旅團新移駐	八、四 古堅
古堅	地名護ヘ出向	
	二、設營ノ爲部隊副官以下一九名出發	
	三、部隊ハ移駐準備ニ專念ス	
下達命令	別紙	
獨混五作命第一八號		
獨混五日命第三四號	獨立混成第一五聯隊日々命令	
	一、本職明五日ヨリ旅團ニ於テ實施セラレル現地戰術ニ出席ス	
	二、陸軍大尉 野崎直彦	
	同 井上清公	
	於テ同日中尉 杉浦藤長	
	陸軍軍醫 [illegible] 村公	

陸軍

前項現地戰術ニ出席ヲ命ズ

休ッテ八月五日〇九、〇〇ヲモッテ旅團司令部ニ到着スベシ

[illegible]

[illegible]

一 本部ハ五日ヨリ本國ニ於テ[illegible]

[illegible]

[illegible]

本部ハ岡澤大尉トス

四、各隊ハ明五日警備ヲ撤シ一八〇〇以降先任者ノ指揮ヲ以テ各々守備地ヲ發シ名護ヲ経テ第二大隊ハ仲宗根第一大隊ハ謝花(渡久地北方約三粁)ニ向ヒ前進スヘシ

本部ハ第一大隊ト同行スルモノトス

五、高級主計ハ移動間ニ於ケル給養ノタメ左記地点ニ所要糧秣ヲ集積スヘシ

第一日 1恩納村 第二大隊ノ分、本部、獨立中隊ノ分
2熱田原 第一大隊ノ分
第二日 名護 全部ノ分

六、本部各隊ハ所要ノ人員ヲ残置シ残務ヲ整理シタル后先任者ノ指揮ヲ以テ成ル可ク速ニ本隊ニ追及スヘシ

七、假編獨立重砲兵第百大隊ノ一小隊ハ八月四日嘉手納ヲ發シ八日一八〇〇渡久地ニ於テ予ノ指揮下ニ入ルヘシ

八、通信班長ハ五日午后現通信網ヲ撤シ新移駐地ニ前進シ各部隊間ノ通信網ヲ構成スヘシ

九、予ハ五日嘉手納ヲ發シ八日渡久地ニ到ル

八月八日一四〇〇 命令受領者ヲ本部ニ差出スヘシ

獨立混成第一五聯隊長 美田大佐

下達法 印刷交付

報告通報先 第二歩兵隊 暁部隊 田中隊

明治九年八月五日　晴

一、[illegible]混成第四旅団ヲ作命第[illegible]号ニ基キ部隊[illegible]及[illegible]

一、新[illegible]第[illegible]大隊、騎隊砲、速射砲、工兵各中隊ハ

二、騎隊本部、第二大隊[illegible]熊本鎮台[illegible]

[illegible]納村[illegible]

三、[illegible]大尉[illegible]

[illegible]

四、第三師団[illegible]

受領

獨立混成第四旅団命令

第八號

一、新[illegible]

二、師団ハ八月十五日[illegible]

到着[illegible]

三、[illegible]

軍ノ沖縄本島[illegible]

[illegible]

本島南半部ニ陣地ヲ占領シ海空軍ト協同シテ極力敵戦力ノ消耗ヲ図リ機ヲ見テ主力ヲ機動集結シテ攻勢ニ轉ジ敵ヲ本島南半部ニ於テ撃滅スルニアリ

一、第二十四師團ノ到着ニ伴ヒ中頭地區ノ守備ヲ交代シ第三十師ヲ以テ伊江島主力ヲ以テ本部半島ヲ確保スルモ其ノ國頭部隊ニ於テ動シ本島南部ノ主作戦ヲ容易ナラシムル如ク補戦ヲ進捗セシム

第三十四師團（欠）

第三十四師團長ノ指揮ニ入レ伊江島ニ向ヒ南進ノ線上ハ第二十四師團ニ属スル一ヶ連隊戦闘隊第一中隊（欠）及特設警備隊等

三、獨立歩兵第百十五大隊（欠）

四、獨立混成第五十五聯隊（欠）伊江島地區隊復帰（第一遊撃隊）ハ本部

一、地雷隊中水雷隊（欠）

十、爾後ハ重力ヲ本部半島ニ確保シ本部半島ノ主陣地ハ中頭地區ニ陣地ヲ占領シ海空軍ト協同シテ極力敵戦力ノ消耗ヲ図リ機ヲ見テ主力ヲ機動集結シテ攻勢ニ轉ジ敵ヲ本部半島南方高地ニ撃滅スルニアリ

主陣地ハ中頭地區ニ陣地ヲ占領シ海空軍ト協同シテ極力敵戦力ノ消耗ヲ図リ機ヲ見テ主力ヲ機動集結シテ攻勢ニ轉ジ敵ヲ本部半島南方高地ニ撃滅スルニアリ

西方海域ハ潜艇等ヲ以テ警備ス

右陣地ハ伊江島ヲ含ム

五、國頭地區隊ハ前線ニ出撃シ兵力ノ充實ニ伴ヒ一部ヲ中頭地區ニ配備シ残部ハ警戒隊ヲ以テ

師團ハ連絡ニ留意シ主力ハ名護附近ニ集結シ適時決戦方面ニ使用シ得ル如ク準備ス

塩屋湾ハ以北殊ニ東海岸ノ防衛ハ依然地方民ヲ以テ之カ構築ス

大高地ニ作戦地境ヲ左ノ如シ

十一、芭蕉新島ニ第三十四師團ハ一部ヲ西南端ニ一部ヲ西北端ニ配備シ西南端ニ一部ヲ港東山ニ新設ス

十二、本部半島ニ第三十四師團ハ主力ヲ連ス線トス

線上ノ本部地區隊ニ屬スベキ部隊

七、砲兵隊ハ到着ニ伴ヒ田井等ヲ護北方四粁ノ附近ニ陣地ヲ設備スベシ

左ノ如ク陣地ヲ設備スベシ

八、輜重沿岸及屋敷地島ヲ射壘シ得ル如ク富等地附近

三、中隊分

屋敷地島西部特ニ海岸ノ射壘シ得ル如ク乙地点

屋敷地側地區ニ第二中隊分

一、大浦湾及宣野座附近ヲ射壘シ得ル如ク丙地点ニ第三中隊分

五、國頭嘉手納部隊附近ニ各一中隊分

六、本部及名護附近ニ第一中隊分

八、兵隊ハ到着ニ伴ヒ名護ニ集置スベシ

前後ノ体勢ニ関シ別命アル迄名護ニ

特護警備ニ当ル第三中隊ハ宣野座ニ集置ス

十、各隊ハ直ニ本部本旅團司令部間ノ連絡スベシ

東京 小澤納

十一、各部隊ノ移動ハ左ノ如ク實施スベシ

一、旅團司令部　八月五日出発名護ニ到ル

二、獨混十五聯隊　荷物ハ船舶輸送部隊ハ五日出発陸路行軍ニヨル

三、重砲小隊　陸路前進

各隊ハ將校以下若干ノ後發者ヲ残置シ所要ノ申送リヲナシ

且追送荷物ノ處理ヲ終リシ後其ノ仕地ニ追及セシムベシ

十二、予ハ五日嘉手納出發名護ニ到ル

旅團長　鈴木少將

下達法

三日午后命令受領者ニ要旨口達後印刷配布

配布先　本部地區隊、國頭地區隊、特警ニ二五、

重砲百一小隊、伊江島飛行場大隊、渡久地船工

獨連隊　特設第二四

美田

[illegible]

[illegible]

[illegible]

昭和九年八月七日

晴

圖頭部
本部村渡久地

美田

一、聯隊本部、聯隊砲、速射砲、工兵各中隊ハ渡久地

第一大隊ハ謝花、第二大隊ハ謝名ニ到着

陸軍

明治九年八月八日　晴

一、渡久地國民學校ニ聯隊本部開設

二、部隊一般ニ陣地構築ニ着手

渡久地　同　數　二一三

下達命令　獨立混成第一五聯隊日々命令　八渡久地

獨混一五日命第三五號

一　第三大隊本部ヲ　陸軍上等兵　菊地榮五郎

同　同　加藤善次

同　同　前山信一

同　同　佐々木源作

陸軍兵長ヲ命ス

二、第三大隊本部ヲ　陸軍一等兵　菅原平

同　同　岩淵守一

同　同　後藤茂男

同　同　柳清春

三、陸軍中等兵ヲ命ス　本田金吉

明治九年八月九日

一、獨混本部ヲ渡久地ニ移ス

第二大隊ハ橋本ニ陣舎

第三大隊ハ渡久地

東京小津錦

三、第一中隊ニ　陸軍衛生上等兵　本田金造
陸軍衛生兵長ヲ命ス
四、自八月廿五日至九月中旬課時限ヲ左ノ如ク変更ス
記
起床及日朝点呼　五、三〇
衛兵交代　八、〇〇
諸断　同　九、〇〇
晩点呼及就寝　同　一二、〇〇
會報　同　一六、〇〇
第三大隊第一家兵　一家兵ニ対シ其ノ五項
部隊長命令　部隊長ノ命令ニ基ク
鄭　美國　消燈　二一、三〇
一、鄭ハ此ノ頃ニ軍ノ指揮ニ基キ
明治五年八月八日　一、鄭ハ此ノ頃ヲ以テ部隊本部ニ帰隊ス

軍

明治九年八月九日　一、一〇、〇〇　部隊長、北村中尉、杉浦中尉、古川中尉
晴　石井少尉ヲ帯同謝花方面ノ地形及陣地構築状況
渡久地　視察
二、一六、〇〇　聯隊本部ニ於テ指揮下各隊長及地方官
民會同左記事項ニ就キ懇談
左　記
一、現地自活用資材ニ関スル事項
二、築城資材及労務者関係
三、運搬車ノ配當並ニ應急對策
四、肉類、野菜、魚類　燃料類ノ配給對策特ニ伊江島
ニ對スル考慮
五、婦人ノ職業ニ関シ民間作業工場ノ利用援助
六、被服貸與ニ関シ民間作業所ノ斡旋援助ヲ考慮ス
三、高摩貫府以下古堅残留者七七名船舶ニヨリ渡久

軍

[illegible]地ニ到着[illegible]

四、彈藥、資材其ノ他梱包船舶輸送[illegible]渡久地港ニ到着揚陸完了[illegible]

美田

[illegible]

[illegible]

[illegible]

部隊長内務巡視計畫表

一九、八、九
球第七八三六部隊

目的　部隊移駐ニ伴ヒ軍紀風紀ノ刷新並ニ諸施設ノ狀況ヲ檢シ之ガ向上ヲ計ルニアリ

課目 / 日次 / 時刻 / 区分	場所	所要時間	概要
八月十一日 0830～0850	部隊本部	20′	一、各中隊ハ分隊下士官以上舍前ニ整列シ部隊長ヲ迎フベシ 二、各中隊長ハ移駐後ノ自己中隊ノ設備其ノ他ニ関シ簡單ナル狀況報告ヲナスベシ 三、服裝ハ略衣袴ニ帶劍(刀)トス
0850～0910	工兵中隊	20′	各内務班ニ於テハ内務班毎ニ二列ノ横隊ニ整列シ各班長敬礼スルモノトス
0910～930	聯隊砲中隊	20′	四、補助官ハ巡視終了後速ニ岡澤大尉ノ許ニ前見ヲ提出スベシ
0930～0950	速射砲中隊	20′	
0950～1020	兵器糧秣某積所	30′	
1040～11.00	校庭	30′	整列場所ハ運動場トシ隊形其ノ他ニ関シテハ石井少尉指示ス

訓示講評

補助官並ニ分担業務

岡澤大尉
一、移駐後宿舍ノ諸施設ニ就テ
二、宿舍ノ配當並ニ内務ニ関スル事項

柳主計大尉
一、被服ノ保存整備ニ関スル事項
二、炊事施設狀況

藤本中尉
一、兵器ノ保存整備ニ関スル事項

町田軍医中尉
一、兵健康狀況
二、宿舍ノ衛生狀況
三、便所ノ施設狀況

備考　一、部隊副官ハ隨行スルモノトス

獨混五作命第一九號

獨立混成第二五聯隊命令　渡久地

一、新ニ軍ノ隷下ニ入ル第二四師團ハ八月五日
亦六ニ師團ハ八月十五、六日頃旅團主力ハ
本月下旬沖繩本島ニ到着ノ予定ニシテ
軍ハ増加兵團ノ未着ニ伴ヒ逐次沖繩
本島ニ於ケル配備ヲ変更ス
軍ハ有力ナル一部ヲ以テ伊江島及本部半
島ヲ確保スルト共ニ主力ヲ以テ沖繩本島南
半部ニ陣地ヲ占領シ海空軍ト協同シテ極

力敵戰力ノ消耗ヲ計リ機ヲ見テ主力ヲ機
動集結シテ攻勢ニ轉ジ敵ヲ本島南半部
ニテ撃滅ス

旅團ハ中頭地区ノ守備ヲ第二四師團ニ移
讓シ一部ヲ以テ伊江島、主力ヲ以テ本部
半島ヲ確保スルト共ニ國頭郡内ニ策動シ
本島南部ノ主作戰ヲ容易ナラシム

第二四師團ト作戰地境ハ伊計島―金武
―安富祖―伊江島西南端ノ線ニシテ線
上ハ第二四師團ニ属ス

國頭地区隊ハ兵力ノ充實ニ伴ヒ一部ヲ宜野
座、辛喜ニ配備シ沿岸警戒及第二四師
團トノ連絡ニ任ゼシメ主力ハ名護附近ニ集
結シ適時決戰方面ニ使用シ得ル如ク準備ス

旅團砲兵隊ハ古宇利島ヲ射撃シ得ル如ク
乙羽岳東側地ニ中隊分ノ陣地ヲ準備ス

二聯隊独速第七大隊ノ第一中隊及假編独
立重砲兵第一〇大隊ノ一小隊属ス)ハ本部地
区隊トナリ有力ナル一部ヲ以テ伊江島ヲ主力ヲ
以テ本部半島ヲ確保セントス

國頭地区隊ト作戦地境ハ古宇利島東端ー奄我地島西端ー港東方一粁ノ無名島ヲ連ネル線トシ線上ハ本部地区隊ニ属ス

三、第二大隊(小隊欠)ハ今帰仁守備隊トナリ先ヅ部ヲ以テ崎山附近ニ前進陣地ヲ主力ヲ以テ平敷南方高地ニ各〻撃滅據点ヲ構築スベシ

四、第一大隊ハ本部守備隊トナリ一部ヲ以テ桃原北方附近ニ前進陣地ヲ主力ヲ以テ北山城跡附近⊙207・237屋比久原附近ニ各〻撃滅據点ヲ構築スベシ

五、第五中隊ノ一小隊ハ拠守備隊トナリ辺名地東方附近⊙207附近ニ各〻據点ヲ構築シ一部ヲ以テ崎本部桃山道及安和桃山道ノ各敷部ニ陣地ヲ構築シ重砲小隊ヲ援護スベシ

六、第三大隊(獨速第十大隊第一中隊欠)ハ伊江島守備隊トナリ一部ヲ以テ△92.2高地前

進陣地ヲ構築シ、主力ハ前任務ヲ續行スベシ

聯隊砲一ヶ小隊ノ配屬ハモトノ如シ

築城ハ特ニ堅固ナラシムベシ

七、各守備隊ノ戰斗地域ノ境界左ノ如シ

今歸仁守備隊 } 今泊東方小流ー東上原東端ー屋名座

本部守備隊 }

桃山守備隊 } 渡久地ー伊豆味道

線上ハ左ニ屈ス

八、重砲兵小隊ハ桃山附近ニ陣地ヲ占領シ主トシテ伊江島ヲ援護スルト共ニ情況ニ依リ名護灣

西方海面ヲ射擊シ得ル如ク準備スベシ

陣地ハ特ニ堅固ナラシムベシ

八、聯隊砲中隊ハ左ノ如ク陣地ヲ準備スベシ

1. 仲宗根北方地区ヲ射擊シ得ル如ク平敷南方附近ニ門分

2. 與那嶺南方及其志堅南方ヲ射擊シ得ル如ク北山城跡ニ門分

3. 其志堅西方渡久地港ヲ射擊シ得ル如ク謝花東方高地ニ門分

4. 濱元及瀬底島ヲ射擊シ得ル如ク辺名地

来才高地ニ門分

一、速射砲中隊ハ今歸仁守備ノ左中隊正面ニ門分及桃原東方地区ヲ射撃シ得ル如ク本部守備隊正面ニ四門分ノ陣地ヲ準備スベシ

一、通信班ハ聯隊本部ト伊江島守備隊及本國司令部間ニ各無線通信ヲ各守備隊ト聯隊本部ノ間ニ有線通信網ヲ構成スベシ

一、工兵中隊ハ先ヅ桃山守備隊ノ爲約一ケ中隊分ノ陣地ヲ構築シタル後各守備隊ノ洞窟掩蔽作業ニ任ズベシ

一、各守備隊ハ守備擔任海面ノ要点ニ水中障害ヲ構築スベシ

一、高級主計ハ成ルベク速カニ伊江島守備隊ノ糧秣約三ヶ月分ヲ各集積スベシ

一、高級軍医及各守備隊ハ所在女子青年ニ対シ衛生法、急救法ヲ教育シ補助擔架兵トシテ使用シ得ル如ク準備スベシ

夫、子ハ本部國民學校ニ在リ

獨立混成第五聯隊長　美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ハ後印刷交付
既有先 各守備隊
報告通報先 XX035 國頭地区隊 第五口飛 1007S 2/17Ts
行場大隊 機部隊 田中隊

昭和九年八月十日

一、八月五日ヨリ部隊長内務巡視實施

靖 聯隊本部 重兵 聯隊砲 速射砲中隊ニ糧秣集積所ノ

渡久地 慣例ニ内務巡視 [illegible]

三、[illegible]四[illegible]ヨリ校庭ニ於テ聯隊本部、獨立中隊將校以

一上金[illegible]訓示 [illegible]

三、部隊副官ニ副官[illegible]為ス 名護旅團司令部[illegible]

一、[illegible]査 獨立混成第四旅團命令 八、二一、二四、〇 名護

受領

獨混四旅命第一〇號

一、旅團ハ備戦地域内ニ於ケル兵要地誌ヲ精査セントス

長 各地區隊長ハ別紙要領ニ基キ夫々担任地區内ニ於ケル兵

要地誌調査ヲ實施[illegible]

調査完成時期ハ[illegible]五日ト國頭地区[illegible]報告[illegible]

コトナク逐次報告ス

三、松井中尉ハ前項報告ヲ整理スルト共ニ特設警備第二

五中隊ヲ區處管内全般事項檢査[illegible]

下達法　旅團長　鈴木少將
報告先　印刷交付
配布先　三二軍
本部地區隊　國頭地區隊　特警二五中隊
名護憲兵分隊

別紙

調査要領

一、調査ノ綱領
二、各部隊ニ於テ備蓄位置分配ニ從ヒ數個宿調査班ヲ編成ス
三、調査要領ヲ將校ヲ長トスル二乃至三名トス
四、實施要領
鄰村役場等ニ就キ準備資料ヲ獲得シタル後主要項目ヲ實地踏査ス馬匹自轉車利用スル外ヲ徒歩ニ依ル
五、調査要目（詳細身内部必要節實施）

イ、飛行場適地（現在實施中ノモノヲ除ク）
ロ、海岸（特ニ裾礁堡礁　斷崖）ノ狀況
ハ、地圖上ニアル道路網ノ價値　新設道路網ノ狀況
ニ、河川ノ狀況　特ニ橋脚ノ強度
ホ、岩石質　洞窟ノ狀況
ヘ、林相ノ大小其ノ價値　耕作地ノ狀況
ト、給水源ノ狀況
チ、現地自活ニ關スル調査

四、報告
各部隊ハ調査實施計畫ノ作製提出スルト共ニ捜査セシ事項ヲ逐次要圖報告スルモノトス

五、本調査ハ作戰上重要地域ニ對シ重点ヲ指向スルモノトス

八月十二日

晴

一、部隊長、岡澤大尉、柳主計大尉、部隊副官、藤本中尉帶同第一大隊及第二大隊ノ内務ヲ巡視

渡久地

美田

軍

東京小津商

八月十二日	一、歩兵第四十旅團第一大隊ノ内第二大隊ノ内第一中隊ヲ以テ	中隊警備第一大隊ノ内第二大隊ノ内第一中隊ヲ以テ

昭和九年八月十三日	一、部隊長石井少尉帯同警備地區内ノ陣地偵察		八、一三 渡久地
晴			
渡久地			
下達命令	別紙		
獨混五作命第二號			
獨混五作命第三號			
獨混五日命	獨立混成第一五聯隊日日命令	大野誠一	
第三八號抜萃	四、兵科見習士官	山崎實	
同		水野清治	
同		武藤仁雄	
同			
同	聖旨第一同ノ件		
	五、工兵隊	藤原兵喬	
	第新軍同令（十三日）	山谷植二	

任陸軍少尉（七月一日附）

五、工兵隊　陸軍工等兵　赤城兵助

陸普第一〇〇號ニヨリ近衛歩兵第一ノ聯隊ニ轉屬ヲ命ス

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一、飛行場適地ノ有無
二、海岸地帶、断崖並ニ珊瑚礁ノ形況、干満差、大發運行ノ難易
三、現地自活調査
四、地図トノ相違点、主トシテ道路網ノ関係
五、複廓陣地適地ノ有無並ニ之カ適地ノ選定

注意
作業ハ五万分ノ一地図ニヨルモノトス

本部地區隊長　美田大佐

下達法　印刷交付
配布先　各守備隊
報告先

100Tes

獨混一五作命第二號

本部地区隊命令

渡八一三六〇

一、聯隊ハ假編独立重砲兵第百大隊平山隊ノ衛生業務ヲ擔任セントス

二、聯隊本部附　寺邑衛生部見習士官ハ平山隊ノ診療ニ任ズベシ

本部地区隊長　美田大佐

下達法　要ニ日ヲ傳ヘ交付
配布先　〃　〃　〃
報告先　〃　〃　〃

100Tes　印刷交附

昭五年八月十四日

一、部隊長、柳主計大尉、石井少尉帯同名護旅團司令部ニ出張

晴

渡久地ニ町田軍医中尉地方女子青年ニ對シ左記要旨ニヨリ教

[illegible]

記　石井英人

第一　[illegible]　骨折、蠱法、[illegible]法

第二　[illegible]

第三　[illegible]　[illegible]術

第四　[illegible]　総合訓練

下達命令

獨立混成第四十旅團第十五聯隊日々命令　渡久地

混成五日命第三九號

聯隊本部情報班軍兵長　淺野義一

二　同　[illegible]　中　[illegible]　[illegible]

三　同　[illegible]　中　[illegible]　石見藤一

四　同　[illegible]　中　[illegible]　[illegible]吉

同　[illegible]　廣川藤市

任陸軍伍長　同　　[illegible]市

二、同　陸軍兵長　中嶋良方吳雄吉

任陸軍主計伍長　同　　[illegible]

三、同　陸軍主計伍長　中富勇力雄

球第[illegible]師團部隊附　陸軍兵長　[illegible]

[illegible]　四、[illegible]　陸軍主計伍長[illegible]　中谷田芳熊次郎

第二大隊本部附ヲ命ズ　[illegible]

五、本職本十四日[illegible]　陸軍主計大尉　櫛武素雄

大[illegible]　陸軍主計大尉　石井英久

美田

陸軍少尉

本職[illegible]行フ命ズ

[illegible]

陸軍少尉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

昭和五年八月十五日　一、岡澤大尉　内當　福地、並里方面山岳地帶ヲ偵察

晴

渡久地

美田

昭和十七年八月十五日　一、四聯大隊内部訓練ヲ終ル

渡久地

昭和十七年八月十六日　晴

一、部隊長石井少尉帯同警備地區ノ陣地ヲ偵察

二、一六、〇〇　第一大隊長來隊

三、地方女子青年衛生救急法教育終了

渡久地

下達命令　獨立混成第一五聯隊日日命令　八、一六　渡久地

獨混五百命第四一號

二、八月三十三、四五日部隊經理官會同ヲ實施ス、仍テ左ノ通リ心得フベシ

板井

左　記

1、會同者　本部及各大隊主計將校　主計下士官

2、會同時刻　第一日　一三、〇〇ヨリ

第二日　以降　〇八、〇〇ヨリ

3、會同場所　聯隊本部經理室

4、目議　① 編成地出發未現在ニ至ル間ニ於ケル金銭糧

5、會同者　本會參議被服糧秣及衛生關係者ノ整理ニ關スル諸事項等

㊞　警備聯隊

[illegible]

[illegible]

[illegible]